

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(地盤支持性能)

No.	指摘日	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
No.1～153は、02-他-F-19-0001_改31までで回答済のため省略									

女川2号工認 記載適正化箇所(地盤支持性能)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
No.1～307は、02-他-F-19-0001_改31までで整理済のため省略						
308	VI-2-13-4	地下水位低下設備揚水井戸の耐震性についての計算書	別紙3-3, 4, 8, 9	南側排水路周囲のMMRの範囲が分かるように、平面図及び縦断図を適正化しました。	2021/11/15	
309	VI-2-13-4	地下水位低下設備揚水井戸の耐震性についての計算書	別紙3-3, 5	南側屋外排水路について、MMR内側に設置しているダブルプレスト管は施工性及び排水の流れをスムーズにするために設置したものであり、排水機能の維持に寄与するものではないことを追記しました。	2021/11/15	
310	その他	VI-2-13-1 地下水位低下設備の耐震計算の方針	別紙1-1	各幹線排水路の流末部は基準地震動 $S_s$ に対し機能を維持するが、構造等を踏まえ、各幹線排水路の流末部を構成する施設は耐震Cクラスとし、地盤(MMR)の連続した空洞である南側排水路(防潮堤横断部)は、空洞周囲のMMRの健全性を確認することにより通水面積を確保し、排水機能確保を確認する方針を記載しました。	2021/11/15	
311	その他	VI-2-13-1 地下水位低下設備の耐震計算の方針	別紙1-1	屋外排水路流末部の耐震評価における許容限界の設定について、各幹線排水路の流末部を構成する施設(敷地側集水ピット(北側)、北側排水路(防潮堤横断部)、出口側集水ピット(北側)、敷地側集水ピット(南側)及び出口側集水ピット(南側))については許容限界を短期許容応力度、曲げ耐力、圧縮耐力、せん断耐力とすること、南側幹線排水路流末部を構成する南側排水路(防潮堤横断部)は、周囲のMMRを対象として許容限界を引張強度及びせん断強度とすることを記載しました。	2021/11/15	
312	その他	VI-2-13-1 地下水位低下設備の耐震計算の方針	別紙1-1	屋外排水路(防潮堤横断部)は、地盤(MMR)の連続した空洞として、空洞周囲のMMRの評価により通水面積が確保されることを確認することも踏まえ、施設とは位置付けず、耐震重要度分類より削除しました。	2021/11/15	

女川2号工認 記載適正化箇所(地盤支持性能)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
313	その他	VI-2-1-1-別添1 地下水位低下設備の設計方針	38	「6.4 排水経路の確保」の記載において、地表面の滞水が確認された場合には、速やかに当該揚水井戸の揚水ポンプを停止し、揚水井戸内の配管上端に設置した分岐管に仮設ホースを接続することで排水経路を構成し、揚水ポンプを復旧する旨を記載し適正化しました。 (屋外アクセスルートに影響が生じる水位まで待つような記載となっていた)	2021/11/15	
314	その他	VI-2-13-7 地下水位低下設備配管の耐震性についての計算書	3	地下水位低下設備概略系統図に分岐管を表示追記し、注記にてその目的(屋外排水路の排水異常により地表面での滞水が確認された場合に、排水経路を確保するために分岐管を設置)に係る説明を加え、適正化しました。	2021/11/15	